

行事名称	第99回技術者倫理研究会例会
開催日時	2022年5月10日（火曜日）18:30～20:30
開催場所	（TeamsによるWEB講演）
主催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 <a href="http://engineeringethics-studygroup">engineeringethics-studygroup</a>
参加者	全国で177名参加（うち北陸本部参加者14名）
演題	「倫理工学」を目指して ーAI・ロボット社会において倫理基準を創発させるための技術フレームの提案ー
講師	石田 武志氏 技術士(環境、総合技術管理)
講演資料	あり
内容	<p>AIやロボットの倫理的な判断・行動を検討する「機械倫理学」という新興の分野があり、ここでは、機械に倫理的な判断を行わせるための様々な技術要素の検討が行われている。本講演では、従来の機械倫理学の検討フレームをレビューするとともに、近年の人工知能の技術的進展を考察することで、機械学習による「倫理的基準の創発」を検討するフレームを提案します。</p> <p>講演の構成は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水産大学校における技術者倫理教育</li> <li>2. 新しい技術者倫理の方向</li> <li>3. 機械倫理学の概要</li> <li>4. AI・ロボット社会において倫理基準を創発させるための技術フレームの提案</li> </ol> <p>として、機械やネットワークに倫理性を維持する新しい方向性を考察された。今後は、具体的なマルチエージェント型の倫理創発システムを構築していく必要がある。⇒「倫理工学」という新しい分野？との提言もあった。</p>
所感	<p>ご自身が、水産大学校における技術者倫理教育を実施している具体例から始まり、新しい技術者倫理の方向、機械倫理学の概要、そしてAI・ロボット社会において倫理基準を創発させるための技術フレームの提案等、幅広い内容のお話があり、非常に興味深い内容の講演であった。</p>
記入者：2022. 5. 16 倫理委員会 阿部治彦	